※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和５年度　理数科

教科	理数	科目	（学）数学特講	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「数学Ｃ」（数研出版）						
副教材等	「新課程　チャート式　基礎からの数学Ｃ」　（数研出版） 「新課程　教科書傍用　サクシード　数学Ｃ」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ｃの単元の「ベクトル」を扱います。ベクトルの基本的な概念を理解し，ベクトルの演算の扱いについて習熟することにより，これまでに学習した図形問題についても，ベクトルを用いた数学的な考察や表現が可能となることを実感してほしい。また，このことによりベクトルの有用性を認識してもらいたい。
ひとつのものを様々な角度から見，役立てるという数学の奥深さを楽しんでもらえることを期待しています。
「ベクトル」が終わった後は，「数学ⅠⅡＡＢ」の入試問題集を取扱います。何せ入試問題ばかりです，難度が高いと感じることでしょう。ただ大事にしてほしいことは，これまでやってきた基礎部分（公式や計算手順などを指します。）を決して疎かにしないことです。問題ごとに，「どのような基礎事項を理解し，使えるようにすべきか」を意識して取り組んでください。皆さんがこれまでの学習で培ってきたものを最大限発揮することができると，皆さんの中で数学に対する違った世界が見えてくることでしょう。それがそのまま入試へと繋がります。
この授業を通じ，数学の奥深さを楽しんでもらえることを期待しています。

２　学習の到達目標

（前期）ベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに，それらを活用する態度を育てる。
（後期）これまで学習してきた単元の演習を通して，より一層理解を深めさらなる知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトルにおける基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付けている。	ベクトルにおいて，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	ベクトルにおける考え方に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期第1中間	数Ｃ1章 平面のベクトル	1　平面上のベクトルとその演算	以下の性質について a:理解している。 b:過程について考察することができる。 c:興味・関心を持ち，一般化したり具体的な問題に利用しようとする。　（以下同じ） ・平面上のベクトル ・ベクトルの演算 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積	確認テスト 定期テスト	定期テスト	レポート等の提出物
前期第2中間	数Ｃ1章 平面のベクトル	2　ベクトルと平面図形	・位置ベクトル ・ベクトルと図形 ・ベクトル方程式	確認テスト 定期テスト	定期テスト	レポート等の提出物
前期期末	数Ｃ2章 空間のベクトル	1　空間のベクトル	・空間の座標 ・空間のベクトル ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積 ・位置ベクトル ・ベクトルと図形 ・座標空間における図形	確認テスト 定期テスト	定期テスト	レポート等の提出物
後期中間	演習形式	既習範囲（数学ⅠAⅡB）から横断的に演習する。	・（数学Ⅰ）数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析 ・（数学Ⅱ）式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数 ・（数学A）確率、図形、整数 ・（数学B）数列、統計	確認テスト 定期テスト	定期テスト	レポート等の提出物
後期期末				確認テスト 定期テスト	定期テスト	レポート等の提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度